

Genetic Transfer Technology

“Revolutionary roll surface
for natural ink management”

Bye, bye Anilox..!

**Apexにしか作れない画期的な彫刻技術
GTTテクノロジー(特許)で
ベタも細字も美しく、品質向上を!**



明日を見つめて明日を拓く

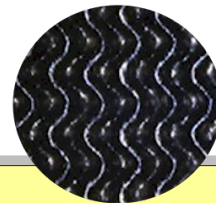


明昌株式会社

大阪市淀川区西中島1-14-10
TEL-06-6304-8340 FAX06-6305-6788



GTTロールとは？



一般的に、アニロックスロールの線数は、印版の線数で決定します。

例えば、版線数が80線の場合は、およそ400線のアニロックスを選びます。では、同時にベタ印刷があった場合はどうでしょう。当然、細かい部分を優先したアニロックスを選択するはずですが、そうすると、ベタ印刷の部分はインキの供給が少ないため、濃度が薄くなります。

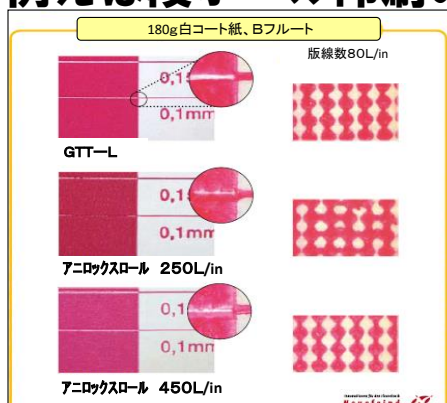
しかしながら、デザイン性・顧客ニーズに合わせた色濃度にするため、インキ自体の濃度アップによる色あわせをされているのが現状です。その結果、インキの使用量の増加、更にアニロックスの目詰まり、インキング周辺の汚れにつながるのです。

ここで、新開発された「GTTロール」がお役に立ちます。

このロールは、特殊な彫刻技術による作り出された表面構造は、インキの流動性が抜群に良いため、インキの転移性が非常に高くなっており、更に網点部分や細字、抜きラインなどの細部についての再現性も抜群です。

つまり、例えば「GTT-L」であれば、従来のアニロックスロールの250～450線のアニロックスロールを1本の「GTTロール」でまかなえるということなのです。

例えば段ボール印刷の場合



ベタ部分も網点も抜きラインも美しく印刷されています。特にベタ部分にある抜きラインの美しさを確認して下さい。

ベタ印刷を濃くしようと250線のアニロックスを使用しましたが、これでは抜きラインや網点がつぶれてしまっています。


網点印刷を美しく再現しようと450線のアニロックスを使用しましたが、これではベタ印刷の濃度が薄くなってしまいます。

彫刻スペックはどうやって選べばいいの？

GTTロールには、段ボール印刷用、軟包装印刷用、ラベル印刷用、コーティング用、オフセットニスコーティング用がございます。用途やお客様のニーズに応じて、スタッフが適切な彫刻スペックをご提案致します。

詳しくはご連絡下さい!!!

明日を見つめて明日を拓く
日本販売代理店

 明昌株式会社

大阪市淀川区西中島1-14-10 <http://www.meisho-c.co.jp>
TEL-06-6304-8340 FAX06-6305-6788

